



The rimaster logo features the word "rimaster" in a blue, lowercase sans-serif font. A red dot is positioned above the letter "i".

**D TERMINAL DISTRIBUTOR**

**KD106HD**

## 取扱説明書

お買い上げいただき誠にありがとうございます

# ご使用上の注意

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。  
お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

警告



・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡  
または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意



・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、  
傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

## 絵表示の説明

注意（警告を含む）  
が必要なことを示す記号



一般的注意



手をはさまれる



一般的指示



プラグをコンセントから抜く

してはいけない行為  
（禁止行為）を示す記号



禁止



水ぬれ禁止



水場での使用禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を  
与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

# 警告

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因になります。

- ・煙が出ている、変なにおいがするなどの異常のとき。
- ・内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・落としたり、キャビネットが破損したとき。
- ・電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。



このようなときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者又は当社に修理を依頼してください。

お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

火災や感電の原因となります。



内部に物を入れない

通風孔などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

ぬらさない

火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となります。



電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む

本製品に異常が発生したときは、電源プラグをコンセントからすぐ抜いてください。

本製品のカバー、キャビネットは外したり、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。  
内部の点検・修理の際は当社にご連絡ください。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。  
また、たこ足配線はしないでください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・電源コードを熱器具に近づけない。



# ⚠ 注意

## 次のような場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。

- ・湿気やほこりの多いところ。
- ・油煙や湯気の当たるところ。
- ・熱器具の近くなど。
- ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ。



## 他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。



## 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

- ・横倒し、逆さま（あおむけ）にしない。

通風孔をふさいだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。



## 移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

接続したまま移動するとコードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



## 本製品の上に重い物を置かない

重い物や本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。



## 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全及び節電のため電源プラグを抜いてください。



## お手入れをするときは電源プラグを抜く

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。



## 電源プラグはコードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張るとコードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



## ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



# 目次

1. 製品概要	-----	1
2. 各部の機能と名称	-----	1
2-1. 前面パネル	-----	1
2-2. 背面パネル	-----	1
2-3. D端子ピン配置	-----	3
3. ケーブル補償回路の設定	-----	4
4. 主な仕様	-----	5
5. 使用例	-----	5



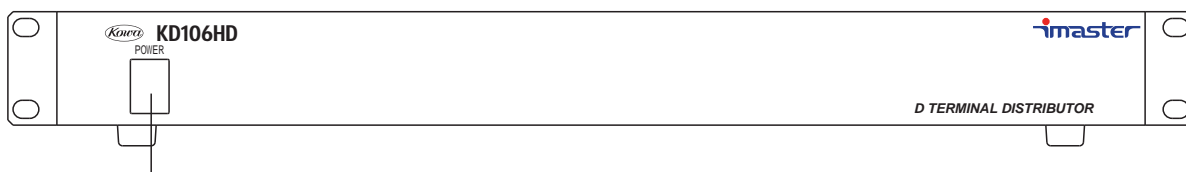
## 1. 製品概要

この製品はデジタル放送用チューナー及びDVDプレーヤー等のコンポーネント信号をBNC3系統，D端子(EIAJ CP-4120規格)3系統に分配することができる、1入力6出力の分配器です。D端子の信号を分配する場合は制御信号も分配されます。

また、BNC入力部において、0～30mまでのケーブル補償を行うことができます。

## 2. 各部の名称と機能

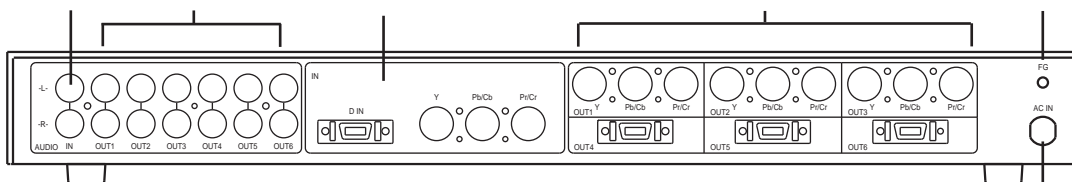
### 2-1. 前面パネル



#### 電源スイッチ (POWER)

電源コードを差し込んだ後、このスイッチをオンにすることにより電源が入ります。通電中はスイッチの緑ランプが点灯します。

### 2-2. 背面パネル



#### 映像入力コネクタ

映像入力コネクタです。Y，Pb/Cb，Pr/Crのコンポーネント信号用のBNCコネクタとD端子があります。BNCコネクタとD端子はパラレル接続のため、同時に接続することはできません。

#### 音声入力コネクタ

アンバランスステレオの音声信号を入力するコネクタです。

#### 映像出力コネクタ

映像出力コネクタです。Y, Pb/Cb, Pr/Crのコンポーネント信号用のBNCコネクタが3系統とD端子が3系統あります。

#### 音声出力コネクタ

アンバランスステレオの音声信号を出力するコネクタです。

#### アース端子 (FG)

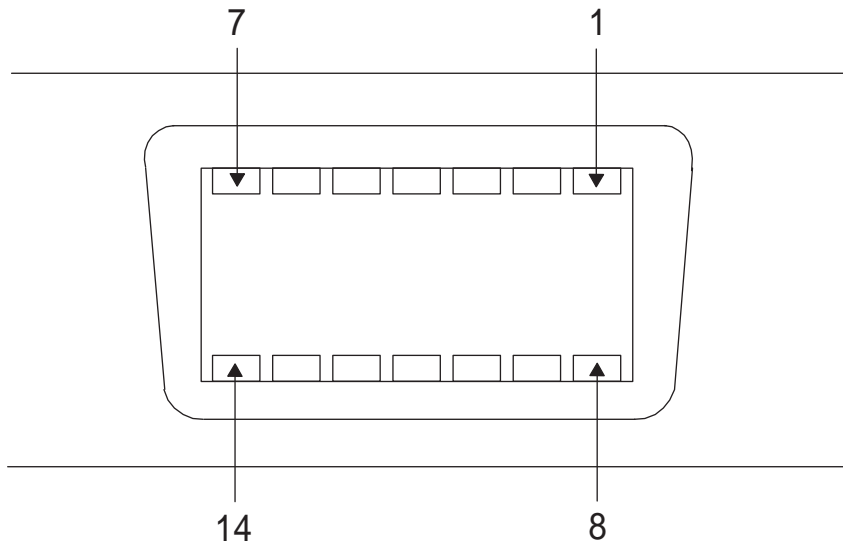
屋内のアース端子と接続するために使用します。また、パソコンのアースと接続することもできます。

#### 電源コード接続部 (AC100V IN )

電源コードでAC100Vに接続します。

### 2-3.D端子ピン配置

本製品のD端子のピン配置は以下の図のようになっております。



- |               |            |
|---------------|------------|
| 1...Y         | 8 ...制御1   |
| 2...Y GND     | 9 ...制御2   |
| 3...Pb/Cb     | 10...予備2   |
| 4...Pb/Cb GND | 11...制御3   |
| 5...Pr/Cr     | 12...GND   |
| 6...Pr/Cr GND | 13...予備3   |
| 7...予備1       | 14...プラグ検出 |



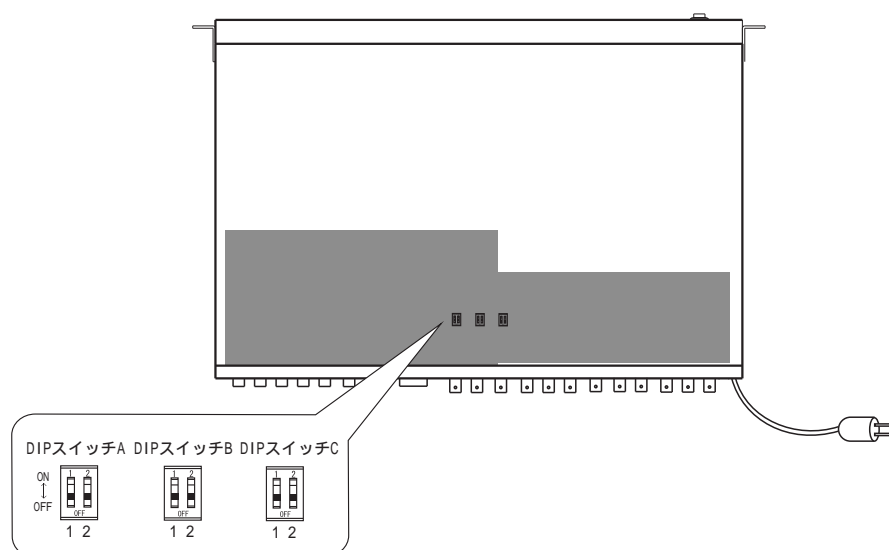
### 3. ケーブル補償回路の設定

入力端子につなぐ同軸ケーブルの長さにより、ケーブル補償回路（本体内部のDIPスイッチ）の設定を行います。設定によりケーブル延長の際に起こる信号の劣化を補償することができます。3C2Vケーブルを用いた場合に最大30mまで信号の補償をすることができます。

注意1：過補償にした場合、モニターなど接続された機種種の信号処理回路が飽和して正常な映像が得られないことがあります。

注意2：BNCコネクタからの入力のみ補償いたします。

#### 設定方法



#### DIPスイッチの設定

スイッチは、天板をはずすと基板上の図の位置にあります。  
天板をはずすには、両側面のビスをはずしてください。

同軸ケーブル長 目安	DIPスイッチ(A,B,C全て設定)	
3C2V	1	2
10m以下	OFF	OFF
10m～20m	ON	OFF
20m～30m	OFF	ON

初期設定は1,2共にOFFになっています。この時の信号は無補償です。

（注意：スイッチ1と2をどちらもONにはしないでください。3つあるDIPスイッチは必ず同一の設定にしてください。正常な映像が出力されません。）

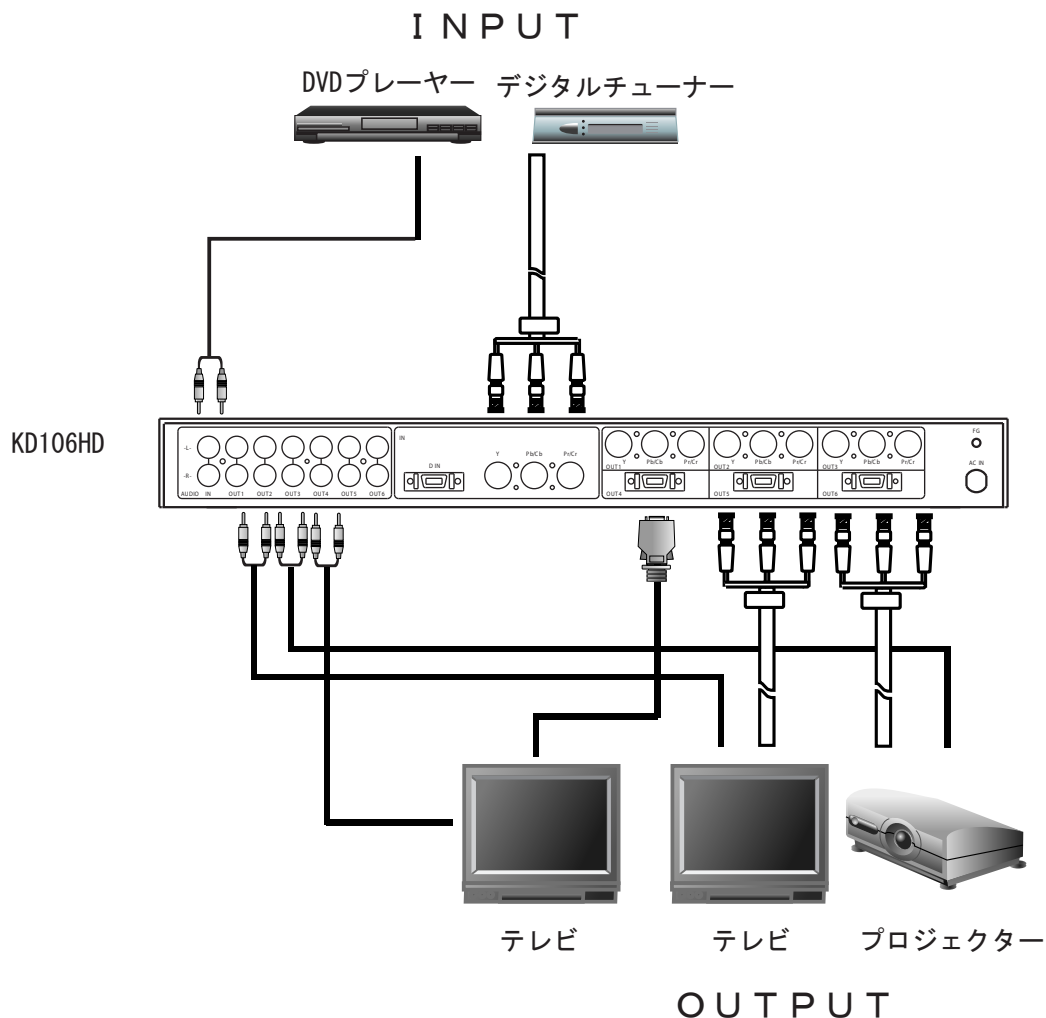
ケーブルは弊社指定のものをご使用下さい。詳細については、弊社サービス窓口までお問い合わせ下さい。

TEL 03-3279-7335  
e-mail i-master@kowa.co.jp

#### 4. 主な仕様

型名	KD106HD
入力チャンネル数	1(BNCまたはD端子) ※BNCとD端子は平行接続のため同時接続はできません
出力チャンネル数	6(BNC3系統及びD端子3系統)
入出力コネクタ	映像:BNC, D端子(EIAJ CP-4120規格) 音声:RCAピンジャック(2chアンバランス)
映像入出力信号	BNC:コンポーネント信号(Y, Pb, Pr)(Y, Cb, Cr)、1.0Vp-p 75Ω
映像帯域	40Hz~100MHz ±1dB 100MHz~150MHz -3dB~+1dB
ケーブル補償	3段階(3C2Vで10m以下、10m~20m、20m~30m)
音声入出力信号	入力:-10dBu 47kΩ 出力:-10dBu 負荷10kΩ以上
音声帯域	50Hz~20KHz ±1dB
音声S/N比	82dB以上
音声クロストーク	80dB以上
音声歪率	0.008%以下
音声最大入力レベル	+20dBu
外部制御	なし
使用温湿度条件	温度:0~40℃ 湿度:20~80% (結露しないこと)
電源電圧	AC100V±10% 50/60Hz
消費電力	約10W
外形寸法	W422×D300×H44(1U) 注:ラックマウント金具、ゴム足を除く
質量	約5kg

#### 5. 使用例



 興和株式会社 電機光学事業部

東京営業：〒103-8433 東京都中央区日本橋本町3-4-14 TEL.(03)5623-8078 FAX.(03)5623-8070

大阪営業：〒541-8511 大阪市中央区淡路町2-3-5 TEL.(06)6204-6185 FAX.(06)6204-6188